

# 第三回 志和俳句川柳コンクール

## 俳句部門

テーマ 「ふるさと志和」「新校舎」



キッズ			ジュニア			中学生			一般														
銀	あきになり きんもくせい のいいかおり 小二T・S 地京せな	銀	ばったさん ぼくと いっしょにかえろうよ 桃組Y・J やまねじゅんや	金	えんそくで どんぐり みつけ おおきいよ 小二S・K	銀	朝露で 銀に輝く ススキの穂 小六S・K	銀	秋の日に 校舎で ずっと本を読む 小三A・A	金	新米の 弁当持って 遠足だ 小四N・S	銀	素直さを見習う私 金木犀 中三O・I	銀	時報塔 落穂拾い を見ているか 中二K・Y	金	赤とんぼ 風に流れぬ 強い意志 廿日市高校	銀	新校舎 クラスで植えた 秋の花 K・Y	銀	川霧が峰押し上げし 生城山 かつちゃん	金	大轍刈田に残し 日の暮るる S・T



## 川柳部門

テーマ 「家族」「ともだち」

キッズ			ジュニア			中学生			一般														
銀	らいねんこそ マスクは ずして わらいあおう みなちゃん	銀	おかあさん いっしょに ねると あたたかい 桃組N・A	金	かぞくがね みまもつて くれる ありがとう 小一Y・R	銀	新しくはじまる志和に むねはずむ 小五I・K	銀	空はれて 友だちみんな を集令だ 小三I・K	金	とうごうであらたなか ぜがふきそうだ ゆうこ	銀	色あせた つかれた声と 西の空 マイネーム	銀	新校舎 みんなの笑顔 つくり出す 中二M・J	金	あたたかい 玄関 抜ける と 家族の輪 花	銀	友達と通う心と 学校と W・A	銀	駆ける子の 見あげる 先に 星月夜 ハナススキ	金	鍋かこみ 世間話に 箸すすむ 志和ばあば

## 銅

一般  
炎天下 励むルカスは茅の上(注:ルカスは人名) S・F  
閉校の 荒しグランド 虫の声 K・T  
遠吠えの こだまも溶くる 秋夕焼け S・M  
あかとんぼ 稲穂の先でひとやすみ S・Y  
中学生  
時報塔 稲刈りやめて 昼ごはん 中一 H・M  
桐一葉 新校舎にも 慣れた頃 中二 O・M  
サッカーだ まつぼっくりける 子供達 中三 O・H  
志和の里 子供の声と秋空と 中三 H・Y  
ふるさとに 秋風吹いて 君を待つ 先われポッキー  
ピカピカの 窓からのぞく 願望 中三 H・S  
稲実り 黄金に染まる 志和の町 中三 F・U  
日をあびて ゆきかうトンボ 志和の里 中三 T・R  
ジュニア・キッズ  
えんそくでとんぐりいっばいみつけたよ きいちろう  
しわの町田んぼでとんぼがとぶ秋だ 小二 A・K  
赤トンボ 夕日にまぎれてとんでいく 小三 I・I  
ころもがえ 半そで長そで どっち着る 小三 Y・R  
帰り道 キンモクセイのいいにおい 小四 D・R  
おにごっこ 秋の風うけ にげ回る 小四 M・H  
秋の風 へとへとなぼく 回ふくだ 小四 K・H  
志和の町 赤くかがやく ヒガンバナ 小五 U・H  
内川の 川面にうつる ひ岸花 小五 I・N  
近く寄る ほのかにかおる 金木犀 小六 E・R  
川柳  
一般  
十日間救援物資で乗り越えた チロル  
ともだちとはじける声でまち起こし K・Y  
支え合う友のやさしさ笑顔くれ I・K  
新聞に区が載り無事を発信す 生城山  
ジュニア・キッズ  
あついひに おおきなプール たのしいな 青組 Y・A  
ロープウェイ りょうこうでのった たのしいな 青組 U・K  
ともだちは こころづよいな ゆう気ある 小二 K・K  
はなびらが そよ風につて とんでいく 小二 S・K  
島キャンプ家族といっしょにつりをする 小三 U・Y  
おにごっこ みんな必死ににげまわる 小四 N・T  
新校舎 気持ちとのえ 勉強だ 小五 Y・M  
試合中 肌で感じる 寒い風 小六 D・R

